

第 104 回 埼玉県内企業経営動向調査－2018 年 7～9 月期－

調査対象：県内企業 557 社 調査方法：アンケート方式（8 月下旬 郵送回収）
 回答企業：219 社（回答率 39.3%） 業種別内訳：製造業 125 社 非製造業 94 社
 調査分析方法 BSI 方式 各設問に対して、良い・増加・過大と回答する割合から悪い・減少・不足と回答する割合を差し引いた数値で業況などを分析する方式

調査時点	為替レート(円/ドル)	日経平均株価(円)
(前回) 2018 年 5 月 14 日	109.33	22,865.86
(今回) 2018 年 8 月 21 日	109.92	22,219.73

概況

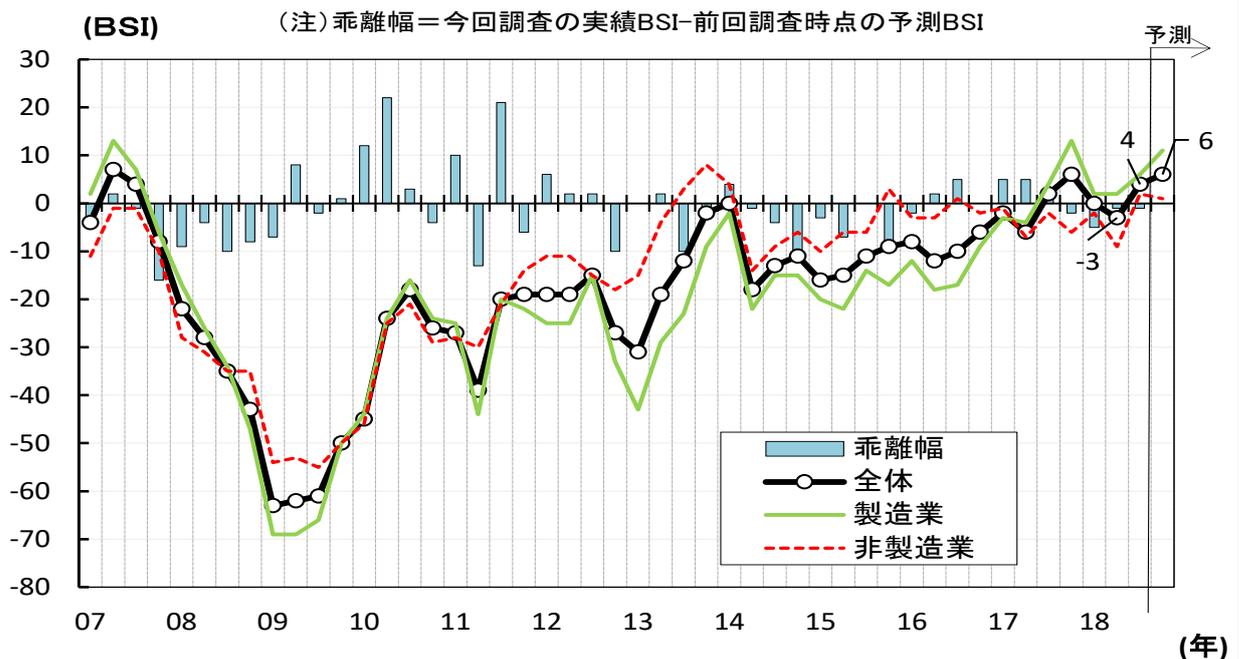
埼玉県内企業の業況感は、回復している。今回（2018 年 7～9 月期）の業況判断 BSI は、前回（4～6 月期）比 7 ポイント上昇の 4 と、2017 年 10～12 月期以来 3 四半期ぶりに回復している。

規模別にみると、「規模の小さい企業」（従業員 100 人未満）、「規模の大きい企業」（従業員 100 人以上）ともに、プラスに転じている。

業種別にみると、製造業はプラス幅が拡大している。化学・プラスチック・ゴム製品が工業薬品メーカーなどの受注増加から、一般機械器具が設備投資の需要から、電子部品・デバイスが自動車や半導体向けなどの需要から、ともに回復している。非製造業も小幅プラスに転じている。一般建設が受注の回復からプラスに転じ、住宅建設や小売が持ち直している。

先行き（2018 年 10～12 月期）の業況判断 BSI は 6 と、緩やかに回復する見通しとなっている。業種別にみると、製造業はプラス幅が拡大する。紙加工品等、金属製品、精密機械などが回復する見通しとなっている。非製造業はほぼ横ばいとなる。小売が持ち直すものの、住宅建設などが後退する見通しである。

図表 1. 業況 BSI の推移



1. 業況判断 BSI (「良い」 - 「悪い」) ~2017年 10~12 月期以来 3 四半期ぶりに回復~

埼玉県内企業の業況感は、回復している。今回(2018年 7~9 月期)の業況判断 BSI は、前回(4~6 月期)比 7 割上昇の 4 と、2017年 10~12 月期以来 3 四半期ぶりに回復している。

規模別にみると、「規模の小さい企業」(従業員 100 人未満)、「規模の大きい企業」(従業員 100 人以上)ともに、プラスに転じている。

業種別にみると、製造業はプラス幅が拡大している。化学・プラスチック・ゴム製品が工業薬品メーカーなどの受注増加から、一般機械器具が設備投資の需要から、電子部品・デバイスが自動車や半導体向けなどの需要から、ともに回復している。非製造業も小幅プラスに転じている。一般建設が受注の回復からプラスに転じ、住宅建設や小売が持ち直している。

図表 2. 規模別・業種別業況判断 BSI

	2017年				2018年				2018年 10~12月 (先行き)
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	前回予想	
全体	-2	-6	2	6	0	-3	4	5	6
100人未満	-7	-13	-2	-1	3	-2	6	3	2
100人以上	3	3	5	13	-3	-4	3	8	11
製造業	-3	-4	4	13	2	2	6	9	11
100人未満	-10	-9	1	5	6	0	8	2	5
100人以上	6	2	8	21	-4	3	3	17	17
素材型	-13	-4	1	11	6	0	0	2	16
紙加工品等	-15	-9	-25	-9	9	0	0	-13	40
化学・プラスチック・ゴム製品	0	9	15	8	0	13	33	38	22
鉄鋼・非鉄金属	-25	0	38	27	-17	-11	-17	0	8
金属製品	18	10	0	36	50	40	20	30	30
その他素材型	-42	-30	-18	-9	-11	-36	-30	-36	-20
加工組立型	8	0	9	24	2	4	19	17	13
一般機械器具	-7	0	27	21	33	29	42	29	33
電気・情報通信機械器具	-8	-8	-8	42	0	9	9	18	-9
電子部品・デバイス	-8	8	18	33	0	-20	45	20	27
輸送用機械	25	-8	0	-9	-17	-27	-9	-9	-20
精密機械	42	9	9	30	-10	29	0	29	38
生活関連型	-5	-15	5	0	-10	-6	-22	6	-12
飲・食料品	0	-10	36	0	20	11	0	11	0
印刷・同関連業	-10	-20	-30	0	-40	-22	-50	0	-25
その他製造業	0	-20	-17	-33	0	25	33	0	0
非製造業	-1	-7	-2	-6	-2	-9	2	0	1
100人未満	-2	-19	-7	-11	-2	-5	2	5	-2
100人以上	0	4	2	0	-2	-14	2	-5	4
一般建設	0	-6	-6	6	6	-6	21	24	16
住宅建設	0	0	-17	-10	-30	-29	0	-43	-13
卸 売	-8	-17	7	0	15	0	0	-7	0
小 売	5	-30	-19	-17	-25	-24	-5	-12	0
運輸・倉庫	8	20	18	0	0	0	0	0	-10
不動産	-9	0	0	-10	9	0	0	13	0
その他非製造業	-7	0	14	-8	7	-7	-6	7	0

2. 売上（生産）高 BSI（「増加」－「減少」） ～非製造業でプラスに転じる～

製造業は、素材型業種の金属製品、加工組立型業種では、一般機械器具、電気・情報通信機械器具、精密機械などでプラスとなっている。非製造業では、住宅建設、小売などでプラスに転じ、運輸・倉庫でプラス幅が拡大している。先行きは、製造業では、紙加工品等、鉄鋼・非鉄金属、精密機械でプラス幅が拡大する見通しとなっている。一方、非製造業では、一般建設、住宅建設でプラス幅が縮小する見通しとなっている。

図表 3 売上(生産)高 BSI

	(前々回調査) 18年1～3月期	(前回調査) 18年4～6月期	(今回調査) 18年7～9月期	(先行き) 18年10～12月期
全体	3	8	19	23
製造業	-4	15	15	26
非製造業	12	-1	24	19
規模の小さい企業	-3	14	16	16
規模の大きい企業	9	2	23	30

3. 経常利益 BSI（「増加」－「減少」） ～非製造業でプラスに転じる～

製造業は、加工組立型業種の一般機械器具、電気・情報通信機械器具、精密機械などでプラスとなっている。非製造業では、住宅建設、小売がプラスに転じている。先行きは、製造業では、紙加工品等、鉄鋼・非鉄金属などがプラスに転じ、精密機械でプラス幅が拡大する見通しとなっている。非製造業では、一般建設がマイナスに転じ、住宅建設でプラス幅が縮小する見通しとなっている。

図表 4 経常利益 BSI

	(前々回調査) 18年1～3月期	(前回調査) 18年4～6月期	(今回調査) 18年7～9月期	(先行き) 18年10～12月期
全体	-2	1	5	12
製造業	-6	6	2	21
非製造業	3	-5	9	0
規模の小さい企業	-7	7	3	5
規模の大きい企業	3	-4	6	19

4. 海外需要 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業の加工組立型でプラス幅拡大～

製造業では、一般機械器具、精密機械でプラス幅が拡大している。先行きは、製造業では、精密機械などでプラス幅が拡大するものの、一般機械器具などでプラス幅が縮小する見通しとなっている。

図表 5 海外需要 BSI

	(前々回調査) 18年1～3月期	(前回調査) 18年4～6月期	(今回調査) 18年7～9月期	(先行き) 18年10～12月期
全体	10	6	9	8
製造業	13	7	12	10
非製造業	3	4	2	2
規模の小さい企業	1	3	8	0
規模の大きい企業	20	11	9	16

5. 生産（販売）設備 BSI（「過剰」－「不足」） ～製造業で不足感が強まる～

製造業は、総じて不足感がみられ、電子部品・デバイスで不足感が強まっている。非製造業は、卸売、運輸・倉庫などで不足感がみられる。

図表 6 生産(販売)設備 BSI

	(前々回調査) 18年1～3月期	(前回調査) 18年4～6月期	(今回調査) 18年7～9月期	(先行き) 18年10～12月期
全体	-9	-1	-9	-7
製造業	-8	5	-10	-12
非製造業	-11	-9	-6	0
規模の小さい企業	-6	4	-4	-5
規模の大きい企業	-12	-5	-13	-9

6. 雇用人員 BSI（「過剰」－「不足」） ～製造業、非製造業ともに不足～

製造業では、素材型で不足感が強まり、生活関連型の飲・食料品で不足感が顕著となっている。非製造業では、一般建設、運輸・倉庫で不足感が強い状況が続いている。

図表 7 雇用人員 BSI

	(前々回調査) 18年1～3月期	(前回調査) 18年4～6月期	(今回調査) 18年7～9月期	(先行き) 18年10～12月期
全体	-36	-34	-36	-39
製造業	-28	-28	-29	-31
非製造業	-48	-43	-45	-50
規模の小さい企業	-32	-25	-30	-34
規模の大きい企業	-41	-44	-42	-45

7. 資金繰り BSI（「楽」－「苦」） ～総じて緩和～

非製造業の不動産で厳しさがみられるものの、製造業、非製造業ともに総じて緩和されている状況にある。

図表 8 資金繰り BSI

	(前々回調査) 18年1～3月期	(前回調査) 18年4～6月期	(今回調査) 18年7～9月期	(先行き) 18年10～12月期
全体	3	8	11	9
製造業	3	5	12	9
非製造業	3	11	10	9
規模の小さい企業	-2	4	6	6
規模の大きい企業	9	12	17	13

(以上)